

## 「埼玉交通安全フェア 2023 in イオンレイクタウン」に参画

～反射材付高齢者交通事故防止チラシを配布して、事故防止を呼びかける～

日本損害保険協会 関東支部 埼玉損保会（会長：新井 良裕・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社理事埼玉支店長）では、高齢者交通事故の防止等を目的として、12月3日（日）にイオンレイクタウンmoriで開催された交通安全フェアに参画しました。

このイベントは、埼玉県交通安全フェア2023実行委員会（埼玉県・埼玉県警察・埼玉県交通安全対策協議会など14団体で構成）が主催しており、埼玉県交通安全対策協議会の委員である埼玉損保会として、協賛のうえ参画しているものです。

埼玉県では、2022年の交通事故による死者数のうち全体の6割以上が高齢者となっていること、歩行者の死者が全体の5割近くを占めていること等を踏まえ、当支部では、反射材付高齢者交通事故防止チラシ（※）および当支部制作のショートムービー「はなちゃんとおばあちゃん」チラシ等を約800部配布し、高齢者を中心に交通事故防止を訴えました。

なお、当日は、埼玉損保会から新井会長が出席し、来場者に対し上記チラシを積極的に手交しながら、「日暮れが早くなるこの季節、反射材を着用して交通事故に遭わないように注意していただきたい」旨、呼び掛けました。新井会長からは、「受け取った方々から『高齢の母親にあげたい』などの声がありました。今回のイベントを通じて、多くの方にお役に立てて嬉しい。埼玉から交通死亡事故ゼロを目指して、これからも地域の皆さんに貢献できる埼玉損保会でありたい」とのコメントがありました。

また、会場では、他にも県や警察、交通に関する団体がブース出展し、交通安全啓発活動や、交通安全体験車の展示、交通安全教室などが行われ、多くの来場者が参加して好評を博しました。

当支部では、今後も消費者に対して効果的に遡及・啓発できる企画イベントに協力することで、自治体等と連携し、交通事故防止に資する取り組みを継続して行っていきます。

（※）反射材付き高齢者事故防止チラシ

高齢ドライバーに多い「出会い頭事故」、高齢歩行者に多い「夕暮れや夜間の事故」を防止するためのポイントを記載したチラシ。添付されている反射材を貼付することで、夜間の交通事故防止が期待できる。

関東支部のブースの様子



チラシを手渡す新井損保会長

